

第4回

議

会

ク

イ

ズ

問題

大木町出身のA君は現在、19歳で大学生です。ふとしたことで、気になる立候補者がいて、ツイッター^{※1}にてその候補者を応援した。この行為は問題ないのか○か×でお答えください。

答え：下記を参照ください。



世界の選挙権年齢はどうなってるの？

現在、世界各国の選挙権年齢は「18歳以上」が主流！

国立国会図書館(平成26年)の調査では、世界191の国・地域のうち、9割近くが日本の衆議院にあたる下院の選挙権年齢を「18歳以上」と定めています。また、選挙権年齢は、ヨーロッパの国々を中心にさらに引下げを進める動きが活発化しており、オーストリアでは既に「16歳以上」への引下げが行われています。また、ドイツやノルウェーなどでは、特定の州や地域で16歳以上への引下げが行われています。

各国の選挙権年齢

25歳	アラブ首長国連邦
21歳	オマーン、マレーシア、シンガポール
20歳	カメルーン、日本(来年度18歳へ引き上げ)など
19歳	韓国
18歳	アメリカ、イタリア、フランス、ロシアなど
17歳	東ティモールなど
16歳	アルゼンチン、オーストリア、ブラジルなど

インターネット選挙運動でできること

有権者も情報を発信できます！

- 自分で選挙運動メッセージを掲示板・ブログなどに書き込む
- 選挙運動メッセージをSNS^{※2}で広める(リツイート、シェアなど)
- 選挙運動の様子を動画サイトなどに投稿する。

18歳以上(有権者)になれば選挙運動ができます。SNSやブログなどの様々なインターネットツールを利用して、特定の候補者の当選を目的とした活動もできるようになりますが、電子メールを利用した選挙運動はできません。

また、満18歳未満の者による選挙運動や公示・告示日から投票日前日までの期間以外の選挙運動も禁止されています。

参照／総務省ホームページ

※1 ツイッターとは…インターネット上で、140字以内の短い「つぶやき」を皆が思い思いに発信することで、コミュニケーションを広げていく。

※2 SNSとは…SNSとは、Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の略。社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスの事です。SNSに登録し、誰かと繋がり、日記(ブログ)を書いたり、誰かの日記にコメントをつけたりすることで、情報交換や会話を楽しむことができます。